

# 第2期常陸大宮市創生総合戦略

令和2年3月 策定

令和4年8月 一部改訂

令和5年8月 一部改訂

常陸大宮市

# 目 次

---

はじめに	1
基本事項	1
1. 国及び県総合戦略との関係	1
2. 常陸大宮市における創生総合戦略の位置づけ	4
3. 市創生総合戦略の期間	4
4. 市の人口ビジョンと市創生総合戦略の関係	5
5. 第2期市創生総合戦略における新たな視点	6
6. SDGsを踏まえた地方創生	6
7. 市創生総合戦略の構成	7
8. 推進体制と進行管理	8
基本方針1. しごとの創出・応援	9
基本方針2. 人の流れづくり	11
基本方針3. 結婚・出産・子育て応援	13
基本方針4. 魅力あるまちづくり	16
新たな視点を取り入れた地域創生の総合的な推進	19

# はじめに

## 策定の目的

---

全国的な少子化・高齢化とこれに伴う人口減少が進行するとともに、若い世代を中心とした人口の東京圏一極集中により、今後さらなる地方の衰退が予測される中、国は平成26年に策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の従来の枠組を維持しつつ、必要な強化を行う方向で見直しを行った第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をとりまとめ、令和元年12月に閣議決定いたしました。

本市においては、平成27年に常陸大宮市の人口の将来展望を示す「常陸大宮市人口ビジョン」における将来人口の実現に向けて第1期の「常陸大宮市創生総合戦略（以下「市創生総合戦略」という。）」を策定し、「まちづくり、ひとづくり、しごとづくり」に取り組んできました。

しかしながら、本市の人口は若い世代を中心に減少が進んでおり、平成30年（2018年）の国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の推計によれば、さらなる人口減少の加速が想定されております。こうした状況を、市が市民とともに、しっかりと認識し、強い危機感を持って、人口減少対策に取り組まなければなりません。

この難局を市全体で乗り越えていくためには、これまでの概念に捉われず、柔軟な発想から生み出される斬新なアイデアで、大胆な施策に勇気を持ってチャレンジすることが必要です。

今般、国や県の総合戦略を勘案し、本市の人口の将来展望を示す「常陸大宮市人口ビジョン」を見直すとともに、人口ビジョンで掲げる将来人口の実現に向けた今後5か年の目標、施策の基本的な方向性や具体的な施策を示し、常陸大宮市の創生を実現するため第2期市創生総合戦略を策定しました。

## 基本事項

### 1. 国及び県総合戦略との関係

---

地方創生は、国と地方が人口減少の克服という共通の課題に対して、それぞれ知恵をしぼり連携して取り組むものです。本市においては、国や県の総合戦略を勘案しながら、市の特性や強みなどを生かして、独自の取組を推進します。

#### 【参 考】 国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」(令和元年12月20日閣議決定)

##### (1) 全体的な考え方

○地方創生は中長期の人口の推移など、次の世代やその次の世代の危機感を共有し、人口減少に歯止めをかけて、それぞれの地域に活力を取り戻していくための息の長い政策である。

○第1期で根付いた地方創生の意識や取組を2020（令和2）年度以降にも継続し、「継続を力にする」という姿勢で、次のステップに向けて歩みを確かなものとする。

○人口の現状と将来の姿、目指すべき将来の方向性を示す「長期ビジョン」をもとに今後5年間の基本目標や施策を「総合戦略」に掲げて実行する現行の枠組を引き続き維持し、第2期版を策定し、地方創生のより一層の充実・強化に取り組む。

## （2）第1期の検証を踏まえた検討の方向性

### ①基本的視点

現行の4つの基本目標を維持し、現時点で効果が十分に発現するまでに至っていない「地方への新しいひとの流れをつくる」及び「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」については取組を強化する。

### ②まち・ひと・しごとの創生と好循環

第1期においては、まず、「しごと」を起点とし、地方の「しごと」が「ひと」を呼び、「まち」が活性化することを基本戦略としてきた。現在の課題の解決に当たっては、好循環を確立する取組が求められていることから、地域資源を活かした「しごと」をつくり、地方の「平均所得の向上」を実現するとともに、地域の特性に応じて、「しごと」起点と合わせて、「ひと」起点、「まち」起点という多様なアプローチを柔軟に行うことが重要である。

## （3）まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

### ①自立性

各施策が一過性の対処療法的なものにとどまらず、構造的な問題に対処し、地方公共団体等の自立につながるようなものであるようにする。

### ②将来性

地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。

### ③地域性

国による画一的な手法や「縦割り」的な支援ではなく、各地域の実態に合った施策を支援することとする。

### ④直接性

限られた財源や時間の中で、最大限の成果を上げるため、ひとの移転・しごとの創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施する。

### ⑤結果重視

効果検証の仕組みを伴わないバラマキ型の施策は採用せず、明確なPDCAメカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。

#### (4) 第2期における新たな視点

- ①地方へのひと・資金の流れを強化する  
地方への定住に至らないものの、特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大に取り組むとともに、企業や個人による地方への寄附・投資等を促し、地方への資金の流れを強化する。
- ②新しい時代の流れを力にする  
情報通信技術など Society5.0 の実現に向けた技術を地方創生の横断分野として位置づけ強気に推進するとともに、SDGs を原動力とした地方創生の推進を図る。
- ③人材を育て活かす  
地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、その掘り起こしや育成、活躍を重要な柱として位置づけ取組を強化する。
- ④民間と協働する  
企業や住民、NPOなどの民間による主体的な取組とも連携を強化する。
- ⑤誰もが活躍できる地域社会をつくる  
女性、高齢者、障がい者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会を実現する。
- ⑥地域経営の視点で取り組む  
地域の強みを最大限に活用して地域外市場から稼ぐ力を高め、域内において効率的な経済環境を創り出す。

#### (5) 国の基本目標

将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京圏への一極集中」の是正をともに目指すため、以下のとおり4つの基本目標と2つの横断的な目標の下に取り組むこととする。

##### 【基本目標】

- ①稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
- ②地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

##### 【横断的な目標】

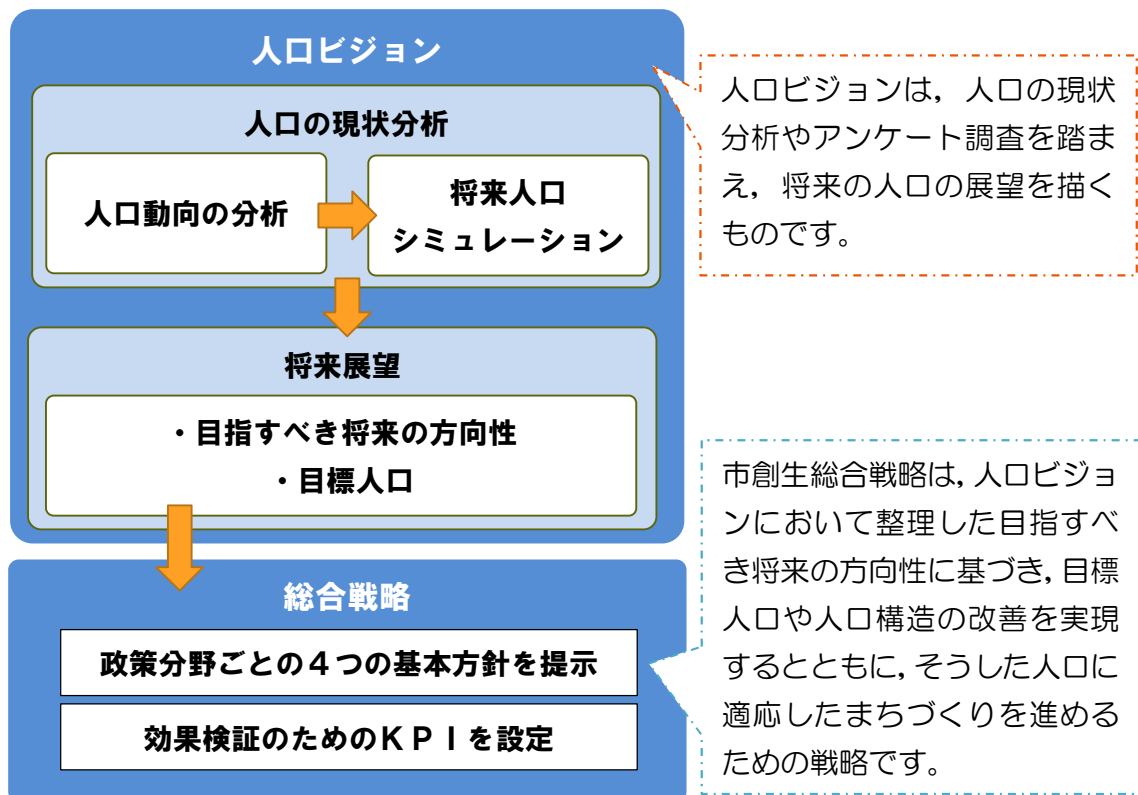
- ①多様な人材の活躍を推進する
- ②新しい時代の流れを力にする

## 2. 常陸大宮市における市創生総合戦略の位置づけ

本市では、「人が輝き 安心・快適で 活力と誇りあふれるまち」を将来像とする「ひたちおみや未来創造ビジョン（常陸大宮市総合計画(以下「市総合計画」という。))」を最上位計画としたまちづくりを進めています。

市創生総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づき、本市の「まち・ひと・しごと」の創生に関する基本的な計画として位置づけ、上位計画である総合計画や各個別計画との整合性を図るものとします。

### 【「人口ビジョン」「市創生総合戦略」と「市総合計画」】



「市総合計画」は、市創生総合戦略を包含した、各分野別のまちづくりを進める上での最上位の指針となります。

## 3. 第2期市創生総合戦略の期間

第2期市創生総合戦略の期間は、令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5か年とします。

H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
第1期 常陸大宮市創生総合戦略					第2期 常陸大宮市創生総合戦略				

## 4. 市の人口ビジョンと第2期市創生総合戦略の関係

第2期市創生総合戦略においては、人口ビジョンにおける目標人口の実現に向けて、第1期市創生総合戦略で根付いた地方創生の意識や目標・取組を原則継承することとします。

ただし、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や社会の動向、本市の人口の現状、市民ニーズ等を踏まえ、基本方針等の市創生総合戦略の構成について見直しを行います。



## 5. 第2期市創生総合戦略における新たな視点

第2期市創生総合戦略では、第1期市創生総合戦略に根付いた地方創生の意識や枠組・取組を原則維持しつつ、第1期の取組成果と課題等を踏まえ、4つの基本方針のほか、これらを効果的かつ有機的につなげる横断的な取組を、新たな視点を取り入れて推進します。

- 視点1** 女性が活躍できる地域社会の構築  
(Point) 人口の将来見通しにおいて、若年層を中心とした女性人口の減少が見込まれることから、女性の転出抑制や定住に向けた取組が必要である。
- 視点2** 関係人口\*の創出・拡大と活用  
(Point) 人口減少が見込まれる中において、地域活力の維持・向上が不可欠であることから、多様な人々による地域とつながりの強化を図る必要がある。
- 視点3** 新しい時代に向けた取組へのチャレンジ  
(Point) 時代の流れを的確に捉え、新たな取組へ積極的にチャレンジし、そこから生まれる可能性を地域の活力につなげていくことが必要である。

## 6. SDGsを踏まえた地方創生

第2期市創生総合戦略においては、「SDGs\*（持続可能な開発目標）」の理念を意識しながら、各種施策を展開し、持続可能なまちづくりを推進していきます。

このことから、施策ごとに、関連するSDGsの17のゴールを示すアイコンを付しています。



※関係人口：「定住人口」・「交流人口」とは異なる、地域や地域の人々と多様に関わる人口

※SDGs（エス・ディー・ジーズ）：「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略で、2015年に国連サミットで採択された2030年を目標とした国際社会共通の目標であり、17のゴールと169のターゲットから構成



## 7. 第2期市創生総合戦略の構成

基本方針/基本目標	具体的な施策	KPI(重要業績評価指標)	横断的な取組			
<b>1. しごとの創出・応援</b> ~多様な働き方を実現し, 安心して働けるまち~ 【基本目標】 市内従業者数	しごとの応援	創業・起業数(年間) (創業支援事業計画に基づく件数)	女性が活躍できる地域社会の構築	関係人口の創出・拡大と活用		
	地域産業の振興	市内法人設立届出数(年間)				
<b>2. 人の流れづくり</b> ~人の流れをつくり, 訪れたい・住みたいまち~ 【基本目標】 社会増減数(常陸大宮市への転入数・転出数の差)	関係人口の創出と観光・交流の促進	観光入込客数(年間)				
	移住・定住の促進	定住促進のための住宅取得奨励金制度の活用件数(年間)				
<b>3. 結婚・出産・子育て応援</b> ~結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち~ 【基本目標】 出生数(年間)	出会い・結婚応援	女性(20~39歳)の有配偶率				
	出産・子育て応援	子育て環境に対する満足度 (未就学前児童保護者)				
	特色ある学校教育の充実	授業がわかりやすいと思う児童生徒の割合 (小学生, 中学生)				
<b>4. 魅力あるまちづくり</b> ~安心して暮らせる魅力あるまち~ 【基本目標】 住み続けたい市民の割合	まち機能の充実と安心な暮らし	市での暮らしの満足度				
	まちづくりへの参画と人材育成	地域の行事・活動への参加割合				
	まちの活力と多様な魅力の創出	若者のシビックプライド(市への愛着や誇り)				
					新しい時代に向けた取組へのチャレンジ	

## 8. 推進体制と進行管理

市創生総合戦略において設定した数値目標などをもとに、実施した施策の効果を適切に評価・検証することでPDCAサイクルによる進行管理を行い、必要に応じて見直しを行います。

### (1) 進行管理と検証の体制

#### ①推進体制

本戦略の推進に当たっては、庁内各課における連携、市と関係機関等との連携を図るとともに、常陸大宮市創生総合戦略有識者会議等からの意見による客観性を反映させながら、戦略に位置づけた各種施策に取り組みます。

#### ②進行管理

○基本目標を達成するため、講ずべき施策を整理し、数値目標を設定します。また、各施策・事業の進捗状況を確認して効果を客観的に検証できるようにするため、施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定し、各事業について点検・評価を行います。

○「常陸大宮市創生総合戦略推進本部」（本部長：市長）において、重要業績評価指標などをもとに施策・事業の効果を検証し、必要な改善を図るとともに、客観性を担保するため、産官学金労言といった幅広い分野の関係者で構成する「常陸大宮市創生総合戦略有識者会議」等の意見を踏まえながら進行管理を行います。

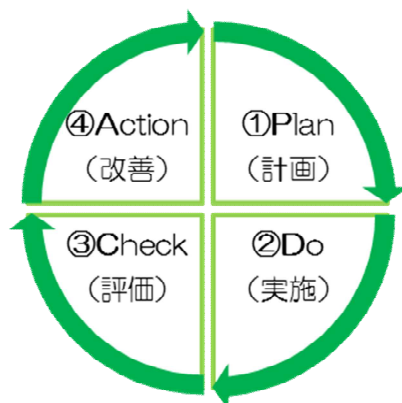
○市創生総合戦略は、社会情勢の変化に柔軟に対応するため、PDCAサイクルによる検証を行い、必要に応じて計画の見直しを行うことで、実効性の向上を図ります。

### (2) PDCAサイクルによる見直し

○実施した施策・事業の効果を検証し、改善を図るPDCAサイクル（計画策定（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のサイクル）を確立します。

○このうち、評価（Check）の部分に関して、基本方針ごとに、基本目標を実現するための数値目標を設定します。

○それぞれの具体的な施策については、重要業績評価指標（KPI）を設定し、これについて、定期的に評価（Check）を行います。



#### <市創生総合戦略におけるPDCAサイクル>

- ① 策定・見直し
- ② 施策・事業の実施
- ③ 実施した施策のKPI等による評価・検証
- ④ 必要に応じた見直し

# 基本方針 1. しごとの創出・応援

～多様な働き方を実現し、安心して働けるまち～

## (1) 基本目標

雇用の受け皿を拡げ新たな雇用を生み出すとともに、創業や新規ビジネスの創出などにより、多様な働き方を実現させ、常陸大宮市において安心して働ける環境づくりに取り組みます。



◇市内従業者数 15,763人（平成28年：2016年） → 16,600人（令和6年：2024年）  
※資料：経済センサス（活動調査）

## (2) 施策の方向性

- 新たな雇用を生み出すため、本市の基幹産業のひとつである農業を核とした6次産業化や地域ブランドの推進により新規ビジネスの創出を図るとともに、若者や女性をはじめとしたすべての人の希望を実現するための創業支援及び、就業支援等を行います。
- 雇用の場を確保するため、既存企業への支援や幅広い分野における企業や事業所の誘致、支援制度の充実を図ります。

## (3) 関連するSDGs



## (4) 具体的な施策

### [施策1 しごとの応援]

- 空き店舗を活用した開業・出店を推進するほか、商工会や関係機関と連携を図りながら、地元企業や商店等の活性化を図るとともに、若者や女性が創業、起業しやすい環境づくりを進めます。
- 農産品や伝統工芸など本市の多様な地域資源を活用したビジネスに取り組む担い手の育成や確保を進め、地域産業の成長を促進します。

#### ◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (H30)	目標値 (R6)
創業・起業数(年間) (創業支援事業計画に基づく件数)	2件	9件

#### <主な事業>

- ◇起業サポート事業
- ◇ひたマルシェ交流事業(R4年度をもって完了) など

### [施策2 地域産業の振興]

- 課税免除や立地奨励金などの優遇措置による立地優位性を生かし、企業等への誘致活動や誘致企業の定着を推進し、雇用機会の拡大を図ります。
- 地域の農林畜産物と食品産業をはじめとした様々な産業間の連携を推進することで、地域の農林畜産物と企業技術等を有効に結び付け、新たな商品、サービス、販路、地域ブランド等を創出します。
- 農林業、商工業、観光業などの相互連携を図ることで、新たなビジネスの機会を創出し、市全体の産業振興を推進します。

#### ◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (H30)	目標値 (R6)
市内法人設立届出数(年間)	22件	30件

#### <主な事業>

- ◇地域ブランド・6次産業化推進事業(R4年度をもって完了)
- ◇企業誘致推進事業 など

## 基本方針 2. 人の流れづくり

～人の流れをつくり、訪れたい・住みたいまち～

### (1) 基本目標

訪れたい・住みたいまちの実現に向け、市が持つ様々な魅力を市内外に効果的・戦略的に発信し、関係人口や交流人口の増加を図るとともに、その先の移住・定住につなげていく取組を促進します。



◇社会増減数（常陸大宮市への転入数・転出数の差）（年間）  
▲243人（平成30年：2018年） → ▲50人（令和6年：2024年）  
※資料：県常住人口調査結果

### (2) 施策の方向性

- 本市の様々な魅力や情報を収集し、その魅力をより多くの人々に効果的に伝えるため情報発信のための基盤を整えるとともに、市民や市外の応援者による情報の収集・発信の流れをつくります。
- 人口が減少しても活気のある地域づくりを進めるため、様々な分野における地域間交流や観光振興の取組を推進し、常陸大宮市の魅力に触れ、本市に関わり続けてくれる人の流れをつくります。
- 移住者の受入促進と市民の定住を維持するため、移住に関する相談や情報を一元化するとともに、効果的な支援に取り組みます。

### (3) 関連するSDGs



## (4) 具体的な施策

### [施策3 関係人口の創出と観光・交流の促進]

- 本市の豊かな自然環境や地域資源等を活用した観光振興を図るとともに、県や関係機関と連携を図りながら、国内外からの誘客を促進します。
- 友好都市交流や地域間交流を通して、産業観光や教育文化など多面的な交流を促進し、交流人口の拡大や関係人口の創出を図ります。
- 本市の認知度向上を図るため情報発信の基盤を整え、本市の様々な魅力や情報を、より多くの人々に効果的に伝え、本市とのつながりを創出します。
- ふるさと納税の推進や企業版ふるさと納税制度の活用を検討し、多様な関係人口の創出を図ります。

#### ◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30)	目標値 (R6)
観光入込客数(年間) ※資料：茨城県観光客動態調査報告	約144万人	約170万人

#### <主な事業>

- ◇御前山・那珂川観光強化事業
- ◇友好都市推進事業
- ◇ふるさと応援寄附事業
- ◇御前山ダム周辺整備事業(R4年度をもって完了)
- ◇自転車活用推進事業(R3年度新規)
- ◇御前山ダム周辺活性化事業(R5年度新規) など
- ◇地域間交流事業
- ◇情報収集発信事業

### [施策4 移住・定住の促進]

- 多様なライフスタイルが実現できる本市への移住促進を目的とした情報発信を強化するとともに、移住希望者のニーズに応じた相談体制の充実を図ります。
- 子育て世帯等の定住促進を図るため、住宅取得にかかる経済的支援を行います。

#### ◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30)	目標値 (R6)
定住促進のための住宅取得奨励金交付制度の活用件数(年間) ※市制度申請件数	92件	120件

#### <主な事業>

- ◇移住・定住促進事業(R4年度事業変更)
- ◇定住促進のための住宅取得奨励金交付事業(R2年度より移住・定住促進事業に統合) など
- ◇木造住宅建設助成金交付事業

## 基本方針3. 結婚・出産・子育て応援

～結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち～

### (1) 基本目標

人と人の出会いを生み結婚の機会を増やし、安心して子どもを産み育てたいと思える環境を整えるとともに、質の高い教育に取り組み、常陸大宮市の将来をリードする子どもたちの学力向上と、教育環境を充実させます。



◇出生数（年間） 226人（平成30年：2018年） → 240人（令和6年：2024年）

※資料：茨城県人口動態統計

### (2) 施策の方向性

- 結婚を希望する若者の定住を促すため、出会いの機会の創出から結婚へとつながる支援の充実を図るとともに、本市で安心して希望どおりに子どもを産み育てられる環境を整えるため、出産・育児にかかる費用の支援や情報発信、相談対応など、切れ目のない総合的な支援を行います。
- 子育て中の保護者、特に母親の就業ニーズが高まっている中で、仕事と子育ての両立を実現するための多様な支援を行います。
- 質の高い教育の展開により、常陸大宮市の将来をリードする子どもたちの学力向上をはじめ、郷土を愛する心や新しい時代を生き抜く力を育みます。

### (3) 関連するSDGs



## (4) 具体的な施策

### [施策5 出会い・結婚応援]

○結婚していない理由として最も多く挙げられている出会いに関する課題を解決し、少子化の一因とされている生涯未婚者の減少や晩婚化の解消を図るため結婚希望者への結婚に関する情報提供や各種相談等の支援の充実を図ります。

○新婚生活に必要な住宅の安定確保に向けた経済的支援を図ります。

#### ◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H27)	目標値 (R6)
女性(20~39歳)の有配偶率 ※資料：国勢調査	45.2%	48.0%

#### <主な事業>

- ◇元気ひたちおおみや結婚応援事業
- ◇結婚祝い金支給事業 (R3年度をもって廃止)
- ◇新婚家庭家賃助成事業 (R4年度より移住・定住促進事業に統合) など

### [施策6 出産・子育て応援]

○不妊治療の助成や、妊娠期から子育て期にわたる支援の体制整備を行い、安心して生み育てられる環境づくりを進めます。

○乳児育児用品購入に対する助成や子どもの多い世帯の保育料の軽減など、経済的な支援を行うとともに、子育て世代包括支援センターを中心として、地域における子育て環境の充実を図ります。

○道の駅常陸大宮や常陸大宮ショッピングセンターピサロに遊具を設置するなど、公園や遊び場の維持や整備を図ります。

#### ◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30)	目標値 (R6)
子育て環境に対する満足度 (未就学児保護者) ※資料：市アンケート調査	27.9%	33.0%

#### <主な事業>

- ◇不妊治療・不育症検査助成事業 (R4年度事業拡充)
- ◇乳児育児用品購入助成事業
- ◇放課後児童健全育成事業
- ◇子育て包括支援センター事業
- ◇こどもセンター運営事業 (R4年度新規)
- ◇道の駅常陸大宮管理事業 (R3年度追加)
- ◇ショッピングセンターピサロ子ども広場整備事業 (R5年度追加) など



## [施策7 特色ある学校教育の充実]

- 地域の特色をいかした学校教育を推進していくとともに、確かな学力を身につけた心豊かでたくましい人材を育成できるよう、質の高い教育環境づくりを進めます。
- 高度情報社会を支える人材を育成するため、ICTを効果的に活用したわかりやすく、特色ある授業を実践します。
- グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、夢を与え、チャレンジする精神を醸成する学習機会の充実を図ります。

### ◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R6)
授業がわかりやすいと思う児童生徒の割合（小学生，中学生） ※全国学力・学習状況調査	78.1%	80.0%以上

### <主な事業>

- ◇フューチャースクール推進事業（R3年度をもって完了）
- ◇常陸大宮っ子学力アップ推進事業（R2年度をもって完了）
- ◇友好都市教育交流事業 ◇「確かな学力」育成プロジェクト（R4年度新規）  
など

## 基本方針4. 魅力あるまちづくり

～安心して暮らせる魅力あるまち～

### (1) 基本目標

常陸大宮市が持つ多くの魅力を活かし継承するとともに、都市の基盤となる地域の拠点の整備・連携を推進しながら、誰もが安心して住み続けたいと思えるまちづくりに取り組みます。



◇住み続けたい市民の割合 44.5%（令和元年：2019年） → 50.0%（令和6年：2024年）  
※資料：市アンケート調査

### (2) 施策の方向性

- 市民や市外の方が「住みたい・住み続けたい」と思えるまちを実現するため、暮らしの環境を整えるとともに、地域に活気をもたらす拠点等を整備し、まちの魅力向上を図ります。
- すべての市民が安全安心に暮らすことができるように、防災・防犯対策や地域医療の充実に取り組みます。
- 協働のまちづくりの担い手となる人材の育成を図りながら、まちづくりに参画しやすい仕組みづくりを進めることで、シビックプライド（市への愛着や誇り）の醸成や地域の魅力の創出につなげます。
- 地域のポテンシャルや強みをいかした地域活性化に向けた取組や東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるホストタウンとしての取組など、あらゆる機会を通して市全体の魅力を創出します。

### (3) 関連するSDGs



## (4) 具体的な施策

### [施策8 まち機能の充実と安心な暮らし]

- 本市における生活環境の総合的な魅力を向上し定住促進を図るため、常陸大宮駅などの都市中心拠点や各地域の地域拠点を整備するとともに、拠点と拠点をつなぐための地域公共交通の維持・活性化に取り組みます。
- 本市において、だれもが安全・安心に暮らすことができるように、医師の確保等による医療環境の向上、防犯や防災のための様々な取組を行い、安全・安心なまちづくりを進めます。

#### ◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R6)
市での暮らしの満足度 ※資料：市アンケート調査	63.1%	71.0%

#### <主な事業>

- ◇常陸大宮駅周辺整備事業
- ◇地域公共交通維持活性化事業
- ◇自主防災組織育成事業
- ◇医師確保事業 など

### [施策9 まちづくりへの参画と人材育成]

- 市民参画のまちづくりを実現するため、市民のニーズやアイデアを把握する機会や仕組みづくりに取り組みます。特に、若い女性を中心にニーズを把握し、女性が暮らしやすいまちづくりにつなげます。
- 大学連携やまちづくり講座、人財バンク制度などを活用して、学習機会の拡大を図るとともに、協働のまちづくりの担い手となる人材の育成を図ります。
- 学校と地域との連携を強化し、地域とのつながりが持てる人材を育成することで、まちづくりの好循環を創出します。

#### ◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R6)
地域の行事・活動への参加割合 ※資料：市アンケート調査	66.5%	72.0%

#### <主な事業>

- ◇常陸大宮人財ネットワーク推進事業
- ◇市民協働のまちづくり推進事業 (R5 年度追加)
- ◇市民協働提案事業 (R5 年度より市民協働のまちづくり推進事業に統合)
- ◇大学地域連携事業 ◇お宝発見事業 (R3 年度をもって廃止) など

## [施策10 まちの活力と多様な魅力の創出]

- 地域の特性を生かした魅力と活力ある地域づくりを推進するため、全市的な地域振興策を多様な主体と連携し、積極的に展開します。
- 貴重な歴史・文化遺産や伝統工芸、芸術や文化など、優れた地域資源の活用や、市民の様々な交流とコミュニティの形成を促進する取組を通して、地域の活力と魅力の創出につなげます。
- 多くの市民が有効かつ効率的に利用し、市民の健康・体力づくりに生かせるよう、スポーツ施設の整備や改修を行います。

### ◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30)	目標値 (R6)
若者のシビックプライド（市への愛着や誇り） ※資料：市アンケート調査	77.9%	90.0%

### <主な事業>

- ◇地域創生まちづくり事業（R4年度をもって完了）
- ◇芸術ふれあい体験事業（R4年度事業名変更）
- ◇東京オリンピック・パラリンピック推進事業（R3年度をもって完了）
- ◇大宮運動公園市民球場整備事業（R4年度新規） など

# 新たな視点を取り入れた地域創生の総合的な推進

## ～点の取組から面の取組へ～

- 地域創生が点の取組から面の取組に広がり、真に継続・発展していくためには、新たな視点(戦略的な視点)を取り入れて、各種施策を推進する必要があります。
- 本戦略では、次の3つの視点に重点を置き、横断的な取組を通して、施策全体の最適化や地域課題解決の加速化という相乗効果を発揮させ、地域創生を総合的に推進します。

### 視点1 女性が活躍できる地域社会の構築

～しなやかな感性をいかしてまちの活性化を目指す～

(取組の方向性)

- 女性ならではの感性をいかし、新たな発想でまちを元気にするため、各種施策における女性活躍の場づくりの推進と新たな担い手の発掘・育成
- 子育てと仕事の両立など、自分らしく生きるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた、女性が輝く環境づくりの推進

### 視点2 関係人口の創出・拡大と活用

～常陸大宮に関わる人々の力を地域の力にしていくことを目指す～

(取組の方向性)

- 本市の特色ある文化、伝統、産業、観光などあらゆる地域資源を掘り起こし、磨き上げながら、多様な人々との関わり、つながりがもてる機会の創出
- 新たな関係人口の発掘・確保に向けた取組の推進と関係人口に関連する情報の共有を図りながら、施策のさらなる横展開の強化

### 視点3 新しい時代に向けた取組へのチャレンジ

～新しい時代の流れを力にして地域活力の創造を目指す～

(取組の方向性)

- 多様化・複雑化する地域課題を解決するため、民間の資金やアイデアを活用する官民連携の取組をさらに推進するなど、既存の枠組みや行政の前例にとらわれない、新たな発想を生かした取組に挑戦
- Society5.0※の実現に向けた未来技術の活用を地域創生に取り入れるとともに、地域課題の解決に向けてSDGsの理念を踏まえた地域創生、持続可能なまちづくりの推進

※Society5.0(ソサエティ 5.0):

インターネットなど仮想のサイバー空間(仮想空間)と、私たちが暮らす現実のフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)

---

第2期常陸大宮市創生総合戦略（令和2年3月策定）  
（令和4年8月、令和5年 月一部改訂）

発 行：常陸大宮市

編 集：常陸大宮市 企画部 企画政策課

住 所：〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町 3135-6

TEL：0295-52-1111（代表） / FAX：0295-53-6010

---